

中学・高校生～

2024年6月 no.90

よんでネット*

2024

夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



フラダン 古内一絵

福島^{ふくしま}の工業高校に通う^{ゆたか}は、同級生の澤田詩織から突然「ねえ、フラ愛好会に入らない?」と声をかけられる。女子が少ない工業高校にフラダンス部があるのも驚きだが、詩織は^{ゆたか}をスカウトに来たと言う。何で俺?という^{ゆたか}に詩織は「そんなん、体目当てに決まってるっしょ」ときっぱり、人目を気にせずグイグイ勧誘に来る詩織から逃げ回る^{ゆたか}だったが、やがて…。

小山書店 [9137]

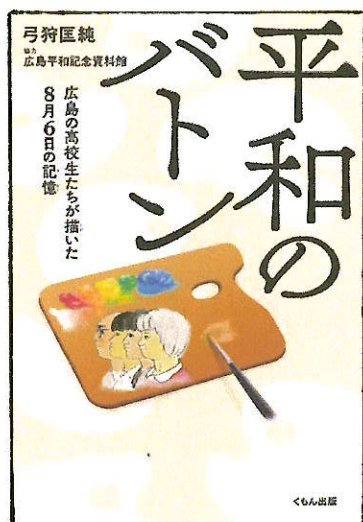
ななみの海 朝比奈あすか

両親はなく、幼い頃祖母に育てられたななみは高校二年生。五年前から「児童養護施設」で暮らしている。祖母から「^{ばあ}馬鹿にされちゃいけない。誰にも負けちゃいけない。」「医者になれ」と言われ続け、医学部進学を目指し、勉強もアルバイトも一生懸命頑張っている。部活の仲間ともうまくやっている。ただ、施設にいることは秘密にしていた。

高校三年生になって ななみは…。



双葉社
[913.6ア]



平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶 弓矢 匡純 協力 広島平和記念資料館

「次世代と描く原爆の絵」は広島市立基町高校の生徒達が、被爆体験者の話を聞き、1人1人が1年をかけて1枚の絵を作成するプロジェクト。“思い出すのもつらい”という被爆者から語られるのは、生徒達の想像を越える体験だ。語る側も、描く側も、共に悩み、苦しみながら“8月6日”を描きあげる。その1枚1枚は次の世代に渡される平和のバトンだ。

くもん出版 [916ユ]

やさしいねこ うちのぽー 太田康介

ある日公園に現れた、フサイフでどんくさい野良猫ぽー。まわりの野良猫たちにいじめられてばかりで、みかねて保護をしたけれど、家猫の中でもぽーは最弱だった…。でも、保護された子猫たちの面倒をみってくれるぽー。名前を呼ぶといつも律義に振り返るぽー。心優しいねこぽーと過ごした日々を経った写真集。



扶桑社 [645オ]



飛ぶための百歩 ジュゼッペ・フェスタ作 杉本あり訳

ルーチョは目が見えないけれど、山歩きが好きな14才。おばさんのベアとく百歩という名の山小屋に来た。そこで、同い年のキアラと山岳ガイドのティツィアーノと一緒にワシの巣があるく悪魔の頂へ、ひなを見に行くことになった。

ところが、ひなは罠猟者に連れ去られ…。

岩崎書店 [973フ]